

1 共通事項

- (1) 活動前に部顧問と打ち合わせを行い、『活動場所・内容・時間』を決定すること。
- (2) キャプテンまたは部長は、活動場所にスマートフォンを携帯し、緊急時にはすぐに学校（0194-22-2720）に電話すること。
- (3) 活動に帯同できない部の顧問は、最も活動場所が近い別の部顧問に連絡をし、緊急時の速やかな対応をお願いすること。
- (4) 活動終了後は、活動場所の片付け、部室の施錠を責任もって行き、部顧問もしくは職員室に在室している教員に活動終了の報告を行うこと。
- (5) ウェイトトレーニング室を使用する場合は、必ず顧問立会いのもと、複数人で実施すること。

2 各部の事故防止マニュアル

(1) 安全対策について

部活動名	内 容
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回は、活動場所の安全確認をする。 ・投てき練習は1人の場合は、投げない。安全な場所で投げる。
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・練習の妨げになる用具等をフロアに置かない。 ・軽い運動からウォーミングアップを行う。 ・コートが濡れた場合は、すぐにコートを拭く。 ・生徒の健康状態をしっかり把握する。 ・体育館を共用で使用する場合は、間隔を広く取る。
ソフトテニス	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットやポールを外す際は2人以上で行う。 ・ラケットを使用する際は、周りに人がいないかを確認する。 ・コート整地の際、ラインテープの釘が出ていないか確認する。
弓道	<ul style="list-style-type: none"> ・防矢ネットの設置 ・矢が飛ぶ方向の動線を確認する。 ・矢取りを行う際は、赤旗を揚げ、声をかける。
ボクシング	<ul style="list-style-type: none"> ・使用前にヘッドギア、グローブ等道具の点検を行う。 ・顧問のいないところで強く打ち合うような練習は行わない。 ・リングに破損がないか確認する。
サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールネットが破れていないか確認する。 ・風が強い日にはサッカーゴールに近づかないようにする。 ・準備運動をしっかり行う。
硬式野球	<ul style="list-style-type: none"> ・打撃練習をする際は全員が打球に集中する。 ・ヘルメットを被るなどの対策を徹底する。 ・使用する用具を定期的に点検する。
卓球	<ul style="list-style-type: none"> ・卓球台の移動は2人以上で行う。 ・卓球台やプレー領域の間隔をしっかり取る。 ・審判を行う際、接触のない場所で行う。
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ポールは必ず2人以上で運搬する。 ・ポールカバーをつける。 ・ネット越しに身体の接触がないように注意する。
郷土芸能	<ul style="list-style-type: none"> ・水分補給、休憩時間を必ず確保する。 ・道具や身体の接触事故等がないよう間隔に十分注意する。 ・道具類の破損がないか定期的に点検をする。

(2) 熱中症予防について

部活動名	内 容
陸上競技部	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症指数 31 以上の時は原則、活動をさせない。 ・水分摂取をさせながら、部活動を行う。
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・窓を開け、送風機で空気を循環させる。 ・適切な間隔で水分補給及び休憩の時間を確保する。 ・気温・湿度を観察し、必要があれば活動を中止する。
ソフトテニス	<ul style="list-style-type: none"> ・気温や湿度により、活動を控える。 ・水分補給と休憩の時間を確保する。 ・テント等を使用し、日陰を確保する。
弓道	<ul style="list-style-type: none"> ・気温や湿度により、活動を控える。 ・水分補給を細めにとる。 ・練習の途中に休憩時間を設ける。
ボクシング	<ul style="list-style-type: none"> ・気温や湿度により、活動を控える。 ・水分補給と休憩の時間を確保する。 ・換気をしっかり行う。
サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・気温や湿度によって活動をやめるか内容を変更する。 ・水分補給を細めにとる。 ・テントを立てるなど、なるべく直射日光を避ける。
硬式野球	<ul style="list-style-type: none"> ・水分補給を細めにとる。 ・練習の途中に休憩時間を設ける。 ・気温や湿度によって活動内容を変更する。
卓球	<ul style="list-style-type: none"> ・換気をしっかり行う。 ・休憩、水分補給の時間を確保する。 ・高温多湿の際は、練習を控える。
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・扉や窓は可能な限りすべて開ける。 ・練習メニューの間隔を狭め、水分補給の時間を設ける。 ・身体の負荷が大きい動作を少なくする。
郷土芸能	<ul style="list-style-type: none"> ・常時換気、送風をする。 ・水分補給、休憩時間を必ず確保する。 ・活動場所が高温多湿の場合は、近隣の施設利用をする。

(3) ヒヤリハット事例について

部活動名	内 容
陸上競技部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がダイナマックスを投げたときに、真下に落下した。 ・ハードルのドリルをしているときに転倒した。
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを追って生徒が壁にぶつかりそうになった。 ・ストップする際に足を滑らせて転倒した。 ・選手同士が接触し、転倒した。
ソフトテニス	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール拾いをしている人にラケットがぶつかりそうになった。 ・ネットを外す際、勢いよく外れてしまい腕にあたった。 ・ラインテープの緩みに引っ掛かり、転倒した。
弓道	<ul style="list-style-type: none"> ・赤旗を出さずに、行射が終わったと勘違いして矢取に入る。 ・行射中に看的板の前に立つ。矢が飛ぶ方向に立つ。 ・巻藁を外れて跳ね返った矢が当たる。 ・袴を踏んづけて転倒する。 ・防矢ネットを飛び越して、射場外に矢が飛んでゆく。 ・袴や道衣の通気性が悪いので、熱中症になる。
ボクシング	<ul style="list-style-type: none"> ・パンチが鼻に当たり、鼻血が止まらなくなった。 ・減量中、サウナで具合が悪くなった。 ・試合中頭にパンチが当たり、倒れた。
サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・強風によりサッカーゴールが倒れ生徒に当たりそうになった。 ・競ったプレーの祭に選手同士が接触した。 ・蹴ったボールが頭に当たり、軽度の脳しんとうになった。
硬式野球	<ul style="list-style-type: none"> ・使用するゲージが倒れそうになった。 ・打球を見ておらず、当たりそうになった。 ・選手同士が接触し、転倒した。
卓球	<ul style="list-style-type: none"> ・卓球台の移動の際、台が倒れそうになった。 ・プレー領域の間隔が狭いために、生徒同士が接触した。 ・高温多湿の中、窓を閉め切って活動し体調を崩す生徒がいた。
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット際での接触による足首などの負傷 ・準備におけるワイヤーネットによる負傷 ・ボールを追っているときのボールへの衝突
郷土芸能	<ul style="list-style-type: none"> ・道具や人との接触・衝突により打撲・転倒 ・道具の破損による手指の怪我 ・練習中の体調の急変